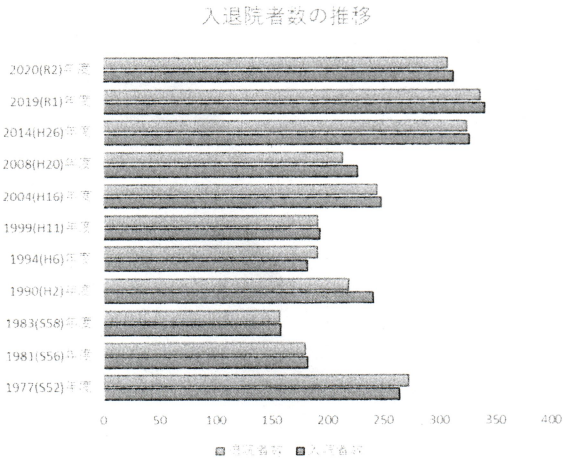


鶴が丘だより

50周年企画 病院統計特集

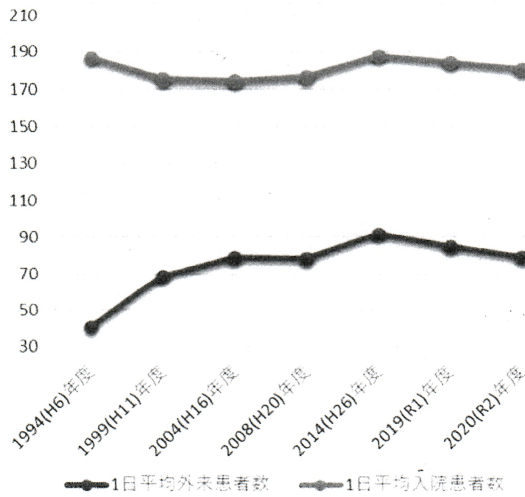
毎年6月の鶴が丘だよりでは、病院統計を特集しています。今回は50周年特集と題した統計を、ご紹介いたします。

I. 入退院数の変化



III. 平均在院日数の変化
 開院以来、多くの方々にご利用いただきありがとうございます。特に、A棟開設（2008年）以降は、病棟の機能分化（急性期治療病棟の設置）により、集中的治療が強化され、入退院数も増加傾向です。

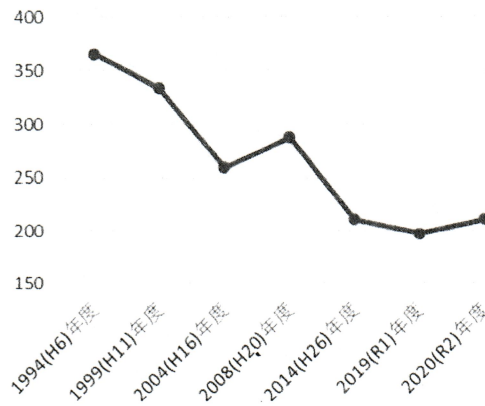
II. 外来・入院患者数の変化



増加しています。診療曜日が増加して、外来患者数は横ばいでありますが、外来患者数の増加も医師数の充実、春期対応の充実が考えられます。

平均在院日数は病院全体で一人の患者様は1日入院していただく指標です。

平均在院日数



開院当初から、地域生活への移行や退院支援を行っている成果により、全国平均（約300日）を大きく下回っています。2019年には、急性期治療も引き継ぎ、病棟の患者様へのケアを充実し、多職種チームで支援して参ります。

ある日の鶴が丘

新しい先生をご紹介いたします

田崎太郎先生

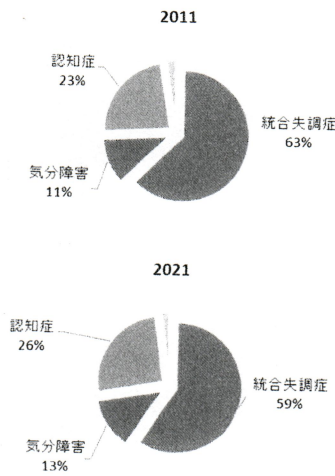


沖縄県で生まれ、小学生から東京で生活しているためか、泳ぐことが苦手です。精神科医の父の仕事も幼少期から間近で見学し、医師の道を志しました。低温調理器で鳥胸肉の料理をすることがマイブームです。よく髪型を指摘されますが、天然パーマです!! 皆様にご寄り添う医療を目指し診療して参りますので、よろしくお願いたします。

院し入
患者様
が増加
し、お
り、在
ま

Ⅱ. 在院期間別

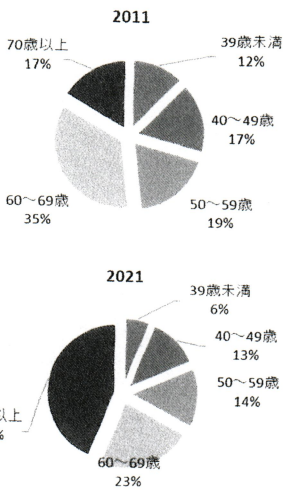
化タ加し
モルし、
反映ヘル
して、
います。
社会変



Ⅰ. 病名別

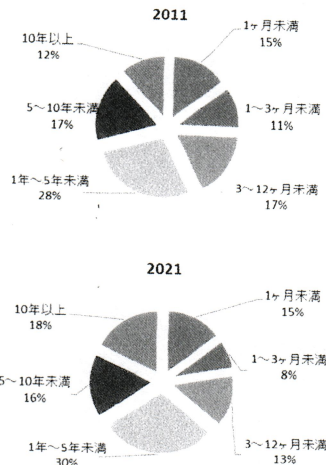
い3
ます。
31日
の
もの
に基
づい
て

◎10年間の
在院患者様の
変化の分析から



いられ
ます。
の
大
きな
課題
と

Ⅲ. 年齢別



退院
支援の
充実も
取り組
んで参
ります。

願
い
申
し
上
げ
ま
す。

へ
文
責
高
野
✓

幅
切
ら
な
い
精
神
疾
患
に
対
し
て
も
、
適
切
な
医
療
を
提
供
す
る
に
対
し
て
も
、
時
に
よ
り
、
ス
タ
フ
一
人
一
人
が
、
と
り
と
り
で
、
各
々
の
強
み
を
活
か
し
、
支
援
を
行
な
し
、
今
後
も
、
大
き
な
課
題
と
な
り
ま
す。



◎ま
と
め
今
月
は
統
計
デ
ー
タ
か
ら
当
院
の
現
状
を
お
伝
え
い
た
し
ま
す。

医療法人社団 鶴永会

窪鳥が丘ガーデンホスピタル
TEL: 044-988-3121
東京都町田市三輪線山 2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL: 045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田 4-11-14

外におか
り、
け
医
へ
ご
確
認
く
だ
さ
い

へ
医
師
か
ら
み
な
さ
ま
へ
▽

背(せ)
伸(のび)は
長(なが)く
つ(つ)づ(づ)か
ない

物(もの)は
た(た)め(め)し
た(た)
何(なに)も
や(や)ら
う(う)

今(いま)月(げつ)の
…
い(い)ろ(ろ)は
カ(カ)ル(ル)タ